

## 1. 授業の概要(ねらい)

後期も同様に中国小説講読。

後期はとくに「義侠」をテーマとした作品を取り上げていく。

「義侠」というのは「男気」といったことで、古来中国人がきわめて重視するものである。

困っている人を見殺しにしない、恩義にはけつして背かない、大義のために自己犠牲もいとわない、等等…

そういう人間を中国では「好漢」と呼んで敬い、また自らもそう称されることを名誉としてきた。

中国人の尊敬すべき面がもっとも現れるのが、こういう時であろうと思う。じっくり鑑賞してもらいたい。

## 2. 授業の到達目標

- ・中国小説の特長を理解し、味わう。
- ・中国の義侠精神の特色を考察する。

## 3. 成績評価の方法および基準

学期末試験。

## 4. 教科書・参考文献

教科書

プリントして配布する。

## 5. 準備学修の内容

前回の内容(あらすじだけでなく、そこから分かる中国小説世界の特色など)をよく反芻しておく。下記「各回の授業内容」に即して原田が提示するキーワードについて、その歴史的背景や問題性をあらかじめ調べておく。

## 6. その他履修上の注意事項

受け身的な姿勢でなく、積極的な学習態度を期待する。

## 7. 授業内容

- 【第1回】 導入～「義侠」とは『搜神記』の「葛祚」を入口に
- 【第2回】 『閑微草堂筆記』から(以下、特に断らなければ同書)「齊大」「布商」
- 【第3回】 「猷鼎の史某」～「義侠」とは何か・元ヤクザの場合
- 【第4回】 「陳四の母」～「義侠」とは何か・老婆(最弱者)の場合
- 【第5回】 司馬遷『史記』刺客列伝 ～義侠の源流
- 【第6回】 「縊死した嫁」～人間の尊厳 「鬼求代」ということ
- 【第7回】 『耳食録』から「南野社令」(1) 身代わりを求めない幽霊
- 【第8回】 『耳食録』から「南野社令」(2) 幽霊と若い漁師の友情
- 【第9回】 「杜奎」～凍えた女幽霊を抱く男
- 【第10回】 「僧の幽霊」～深く悔いる霊
- 【第11回】 『子不語』から「閔帝断獄」～閔帝神の粋なはからい
- 【第12回】 『西遊記』の中の義侠、「武侠小説」というもの
- 【第13回】 憑依ということ～「悪い幽霊が詐欺を働こうとして未遂に終わる」「幽霊のために仲人をする」
- 【第14回】 夫婦の愛情～「老婆と少年」「幽霊が幽霊を駆逐する」+「結草」(春秋左氏伝)
- 【第15回】 孝子の奇跡～「息子の幽霊と会う」「孝子と盗賊」